学校番号	３０２

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

健康・安全について理解しよう。
健康的な生活習慣について理解しよう。
現代における健康課題を理解し、その解決方法を理解しよう。
健康に害を及ぼす可能性のあるものについて理解しよう。
心肺蘇生法を実施できるようになろう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・健康にかかわる問題を理解するとともに、身近な健康課題に興味を持ちその解決方法を考えられる。
【思考力、判断力、表現力等】
・心身を一体のものとして捉え健康的な生活を送れるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・健康の保持増進のための、個人また社会における課題の解決に自らの知識を役立てることが出来る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康の保持増進のための、個人また社会における健康・安全に対する課題の解決に自らの知識を役立てることが出来る。 社会環境を改善するための基礎的な事柄を理解している。	健康の保持増進のために何が必要かを考え、問題解決のための方法を考えられる。 健康に関する様々な知識を表現できる。	自らの健康を管理し更なる保持増進のために何が必要かを考えられる。 現代における健康課題を見つけ、改善のための方法を考えられる。 健康・安全について水から実践する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	a：我が国の死亡率，受療率，平均寿命，健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 健康水準，及び疾病構造の変化には，科学技術の発達，及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b：健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。〃 c：健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト 暗唱テスト	ノート レポート グループワーク	授業への取り組む姿勢 ノート

2学期	現代社会と健康	喫煙と健康	a：喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b：喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価している。 c：喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト 暗唱テスト	ノート レポート グループワーク	授業への取り組む姿勢 ノート
		飲酒と健康				
		薬物乱用と健康				
		精神疾患の特徴				
		精神疾患の予防				
		精神疾患からの回復				
		現代の感染症				
		感染症の予防				
		性感染症・エイズとその予防				
		健康に関する意思決定・行動選択				
		健康に関する環境づくり				

3学期	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	a: 事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・安全な社会づくりについて，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 c: 安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト 暗唱テスト	ノート レポート グループワーク	授業への取り組む姿勢 ノート
		安全な社会の形成				
		交通における安全				
		応急手当の意義とその基本				
		日常的な応急手当				
		心肺蘇生法				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度